

株主、投資家、取引先、社員のみなさまへ

第24期 期末報告書

2012年3月1日から2013年2月28日まで



株式会社 エスケイジャパン

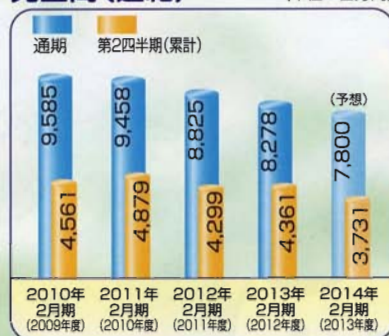
SK JAPAN LOS ANGELES. TOKYO. NAGOYA. OSAKA. FUKUOKA

(証券コード: 7608)

Financial Highlights 財務ハイライト

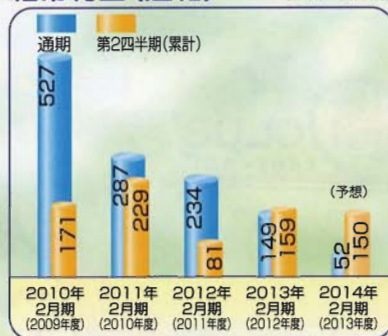
売上高(連結)

(単位: 百万円)



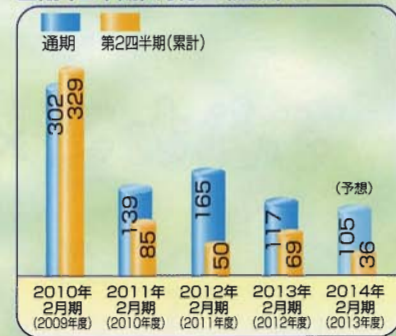
経常利益(連結)

(単位: 百万円)



当期(四半期)純利益(連結)

(単位: 百万円)



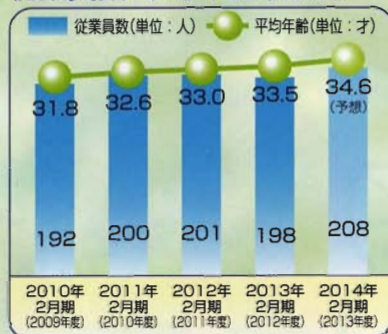
自己資本・自己資本比率(連結)

(単位: 百万円, %)



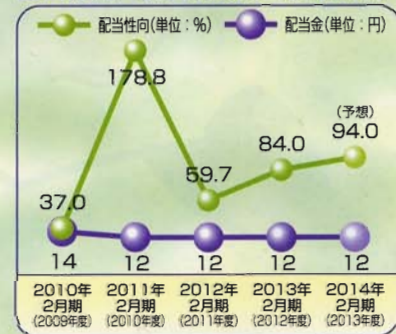
従業員数・平均年齢(連結)

(単位: 人, 単位: 才)



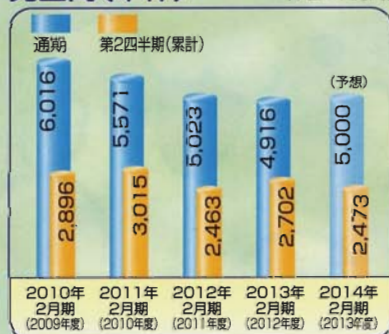
配当性向・1株当たり配当金(単体)

(単位: %, 単位: 円)



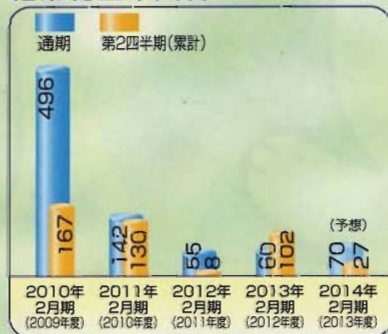
売上高(単体)

(単位: 百万円)



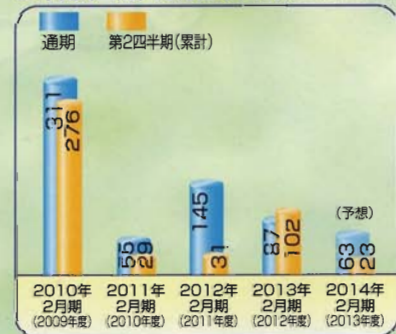
経常利益(単体)

(単位: 百万円)



四半期(当期)純利益(単体)

(単位: 百万円)



(注) 1株当たり配当金のうち、2010年2月期には創立20周年記念として2円の増配を含んでおります。

マネジメント・メッセージ

株主、投資家、取引先、社員のみなさまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第24期（2012年3月1日～2013年2月28日）の連結業績につきましては、当連結会計年度は、新政権発足による金融緩和の実施や景気対策等、今後の景気回復に期待感が高まりつつある一方で、雇用・所得状況は依然として厳しい状況で推移しました。また、年度後半には、為替が円安に向かい、国内株式市場も持ち直すなど、日本企業の経営環境改善に向けた変化が見られるようになりました。

当社グループの属する業界におきましても、東日本大震災の復旧復興に合わせて一部に持ち直しの動きが見られたものの、個人が消費を控える状況が続き、同業他社との競合が一層激しくなるなど厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、各事業部門の諸施策を遂行し、業績向上に邁進いたしましたが、ヒットキャラクターの不在等により商品企画・仕入が思うように進まず苦戦しました。また、リテイル事業を担当する株式会社ナカヌキヤを清算し、この事業から撤退することとなったため、事業清算を見据えた店舗運営を余儀なくされました。この結果、当連結会計年度の売上高は82億78百万円（前期比6.2%減）、営業利益は1億46百万円（前期比37.3%減）、経常利益は1億49百万円（前期比36.3%減）、当期純利益は1億17百万円（前期比28.9%減）となりました。

リテイル事業から撤退したことにより、今後は、メーカー・卸という本来の業務に集中し、グループ全体の競争力と収益力の向上およびマネジメント体制の強化に全力を挙げて取り組んでまいりますので、一層のお引き立て、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2013年5月



代表取締役社長

久保 敏志

SK JAPAN GROUP

 株式会社 エスケイジャパン

 株式会社 サンエス

 株式会社 ケー・ディー・システム

 SKJ USA, INC.

* 販売力強化のため、東京本社ビルを取得

これまで、当社の東京本社は、蔵前と浅草橋（ともに東京都台東区）の2拠点体制でしたが、今後の事業の成長のためには各事業部門の力を結集することから、2012年6月に新社屋を取得しました。これからも、商品企画の共有等により販売力の強化を推し進めてまいります。

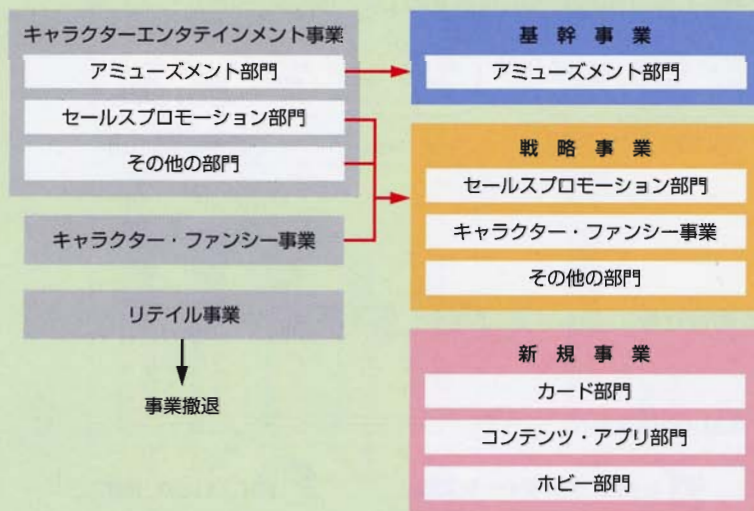
所在地：東京都台東区寿三丁目14番13号

地上5階 敷地面積：236.97㎡ 延床面積：1,046.18㎡



* 成長戦略の構築と新たな事業基盤の強化のため、中期経営計画を策定

このたび、中期のグループの目標として、「新たな挑戦を続け、将来にわたって持続的成長を実現し、人々の真に豊かな生活の実現に貢献できる企業集団となること」を目指し、グループの更なる発展を図るべく、5ヵ年の中期経営計画を策定しました。5ヵ年のうち、最初の3年間で「成長戦略構築の期間」と位置づけ、既存事業と関連領域における成長機会をより積極的に追求していくとともに、新規事業の育成と展開を進め、残る2年間で、成長戦略実施の結果を踏まえ、「更なる事業基盤強化の期間」と位置づけ、3年後に改めて計画の内容を検討します。



数値目標 (百万円)	2012年 2月期	2013年 2月期	2016年 2月期	2018年 2月期
売上高 (うちリテイル事業)	8,825 (865)	8,278 (774)	8,500	9,300
営業利益	233	146	300	400
営業利益率	2.6%	1.8%	3.5%	4.3%



Character Line Up



おさわり探偵 なめこ栽培キット スタンドケース
©Beeworks/SUCCESS



ドラえもん ラバーフォトフレーム
©Fujiko-Pro, Shogakukan, TV-Asahi, Shin-ei, and ADK



新幹線 キャラ温計3D
N700系、ドクターイエロー、JR東海青島線、JR西日本新大阪線
E5系はやぶさ、JR東日本東北新幹線



リラクマ 保存容器
©2013 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.



ハローキティ アトマイザー&耳かき
©1976, 2013 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.S534633



ボンバーマン マスコットボールチェーン
© Konami Digital Entertainment



ミニ四駆スーパーアバンテ IFRIT
©2013 TAMIYA



ひつじのショーン マスコットボールチェーン
© and TM Aardman 2013



星のカービィ ランチボール
© Nintendo / HAL Laboratory, Inc.

キャラクターエンタテインメント事業



株式会社 エスケイジャパン



SKJ USA, INC.

売上高は前期比7.9%減、営業利益は前期比61.9%増

アミューズメント部門

多店舗展開するオペレーターを中心に、顧客ごとのニーズに即した商品を提案することによるシェア拡大を図りました。商品面では、「AKB48」や「星のカービィ」、「くまもん」等の新規キャラクター商品を発売し人気となりました。また、SKJ USAの売上高は33百万円（前期比61.8%増）となり、当部門の売上高は38億44百万円（前期比2.6%減）となりました。

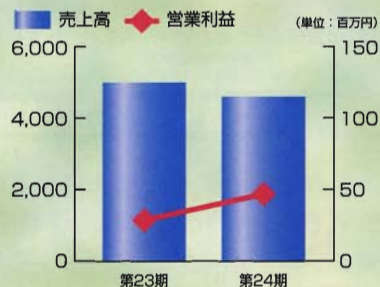
SP（セールスプロモーション）部門

出版会社をはじめとして、外食・食品・製薬等、様々な業界からの受注を獲得しましたが、前期のような大型案件がとれず、売上高は7億19百万円（前期比25.6%減）となりました。

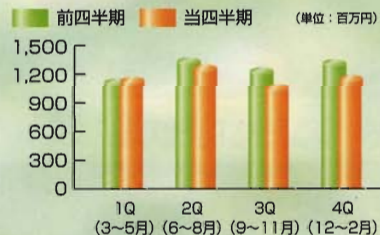
EC（イーコマース）部門

これまでの売上の中心であったフィギュアの販売を、市場が飽和状態にあり、価格競争も厳しいことから撤退し、また、売上の苦戦していた1サイトを閉鎖しました。この結果、売上高は42百万円（前期比51.9%減）となりましたが、閉鎖したサイトにかかっていたコストと人員を自社サイトの強化に投入し、取扱商品も需要の高いぬいぐるみや生活雑貨にシフトしております。

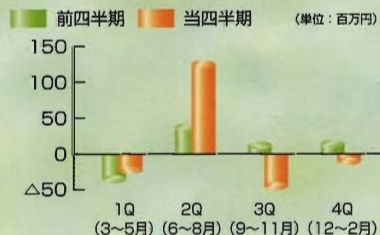
通期業績の前期比較



四半期売上高の推移



四半期営業利益(損失)の推移



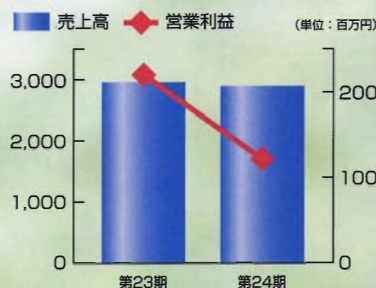
キャラクター・ファンシー事業

株式会社 サンエス
SAN-E S

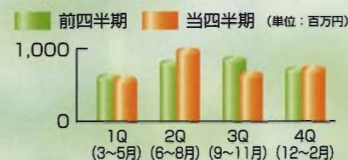
株式会社 ケー・ディー・システム
KDS

トレーディングカード等の「AKB48」関連グッズや新たなヒットキャラクターなどが大きく売上を伸ばしましたが、前年までの好調の要因であったアニメキャラクターやゲームキャラクターの売上が軒並み落ち込んだことが大きく影響しました。これにより売上高は28億97百万円（前期比2.0%減）、営業利益は1億22百万円（前期比44.0%減）となりました。

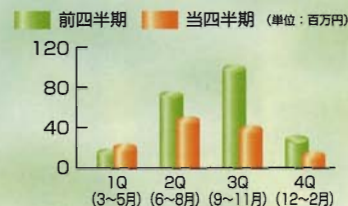
通期業績の前期比較



四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移

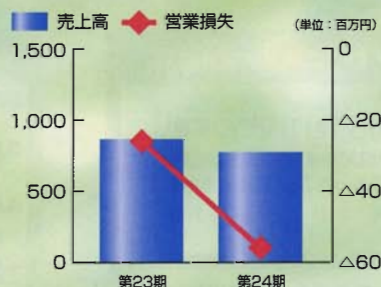


リテイル事業

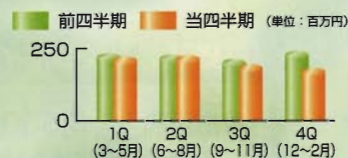
株式会社 ナカヌキヤ
ナカヌキヤ

当事業を運営している株式会社ナカヌキヤは、2013年2月末をもって清算することが決定しており、商品の仕入を制限し、事業清算を見据えた店舗運営を行った結果、総じて厳しい状況となりました。以上の結果により、売上高は7億74百万円（前期比10.5%減）、営業損失は56百万円（前期は26百万円の営業損失）となりました。

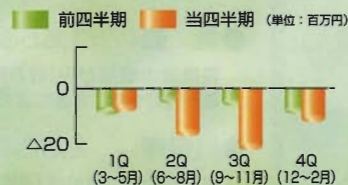
通期業績の前期比較



四半期売上高の推移

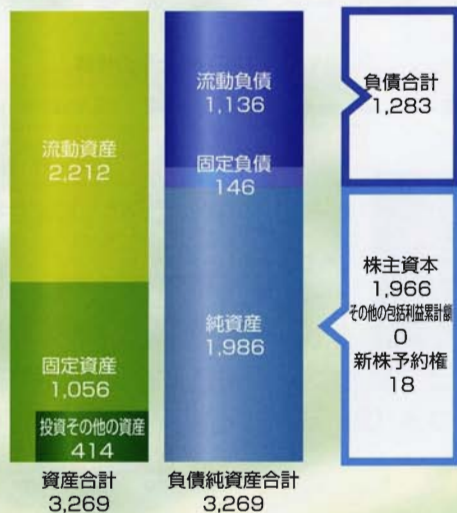


四半期営業損失の推移



Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

○連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



前期末
(2012年2月29日現在)



当期末
(2013年2月28日現在)

貸借対照表のポイント (前期末比増減額)

- 総資産 3,580百万円 (311百万円の増加)**
 東京新ビル取得による土地の増加が273百万円、建物および構築物の増加が92百万円あったこと等によるものです。
- 負債 1,556百万円 (272百万円の増加)**
 買掛金の増加が60百万円、短期借入金の増加が250百万円あったこと等によるものであります。
- 純資産 2,024百万円 (38百万円の増加)**
 利益剰余金の増加が18百万円、新株予約権の増加が10百万円あったこと等によるものであります。

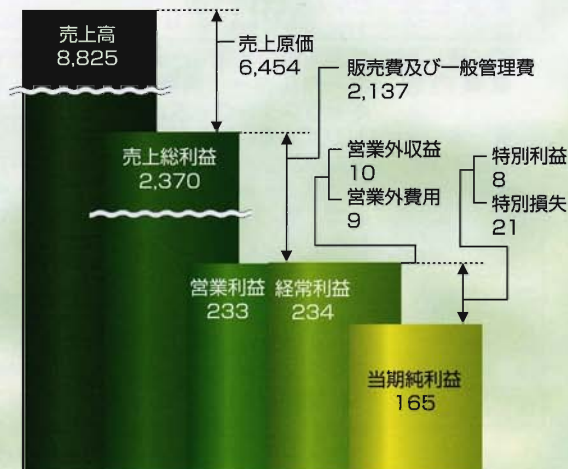
総資産・純資産・自己資本比率の推移 (単位: 百万円)



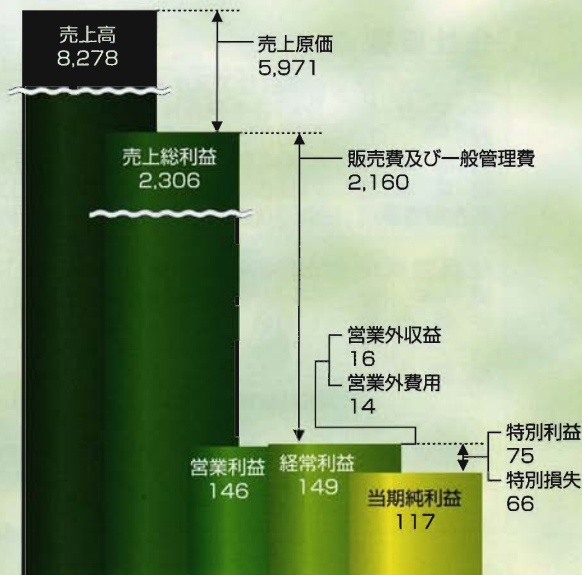
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

○連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



前期
(2011年3月1日～2012年2月29日)



当期
(2012年3月1日～2013年2月28日)

損益計算書のポイント (前期比増減額)

- 売上高 8,278百万円 (546百万円の減少)
アミューズメント部門が103百万円、SP部門が246百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。
- 販売費及び一般管理費 2,160百万円 (23百万円の増加)
消耗品費が9百万円、広告宣伝費が15百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。
- 営業利益 146百万円 (87百万円の減少)
キャラクター・ファンシー事業の営業利益が122百万円 (前期比96百万円減) となったこと等によるものであります。

○連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2012年3月1日から 2013年2月28日まで)	前期 (2011年3月1日から 2012年2月29日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		118	129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	347	△ 125
財務活動によるキャッシュ・フロー		151	△ 98
現金及び現金同等物に係る換算差額	△	4	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△	80	△ 95
現金及び現金同等物の期首残高		775	871
現金及び現金同等物の期末残高		694	775

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Corporate Profile

会社の概要 (2013年2月28日現在)

○会社概要

商 号 株式会社エスケイジャパン
英 文 社 名 SK JAPAN CO.,LTD.
設 立 1989年12月1日
大 阪 本 社 〒540-0005 大阪市中央区上町1-4-8エスケイビル
東 京 本 社 〒111-0042 東京都台東区寿3-14-13エスケイビル
名古屋営業所 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-8-17

福岡営業所 〒812-0041 福岡市博多区吉塚2-16-11エスケイビル
資 本 金 440,948,911円
従 業 員 数 110名

事 業 内 容 (グループ合計198名 平均年齢33.5才)
キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー、
家庭雑貨、携帯電話アクセサリグッズ、
プライズ商品等の企画・製造・販売

主要取引先 株式会社スモ、株式会社スリートワン、株式会社ヴィジョン、アドアーズ㈱、㈱アミ
パラ、㈱アミューズメント タカ、㈱アムリード、㈱アルプス、㈱アール・アール・ビー、
㈱イオンファンタジー、㈱ウェアハウス、エイトレジャー物産㈱、
㈱エッグボックス、㈱角川書店、㈱カプコン、カルビー㈱、㈱カンソー、㈱共
和コーポレーション、㈱ケイ・キャット、㈱ゲオディノス、㈱コスミック出
版、㈱コーエーテクモウェア、コナミ㈱、㈱コミュニケーション・ワーク
ス、㈱コロナ、㈱ガ・サードブラネット、㈱集英社、㈱小学館、㈱セガエンタテ
イメント、㈱ソニー、大長商事㈱、㈱タイトー、㈱宝島社、㈱豊島園、㈱トム
ス・エンタテインメント、ドリームインフィニティ㈱、㈱ナムコ、日清食品
㈱、日本テレビ放送網㈱、㈱ニューギン、㈱NEWS、㈱バーマン、㈱福屋屋、
㈱ハローズ、㈱パンプレスト、びあ㈱、㈱ファンフィールド、㈱ブレイク、㈱ブ
レジャーキャスト、フレイブ㈱、㈱プロボックス、㈱フロンティアジャパン、北
東商事㈱、㈱北陸レジャー、㈱マタハリー、㈱マルハン、㈱焼津ミッツ、㈱山
崎屋、㈱ユウイング、㈱UCO、ユーズ㈱、㈱ラウンドワン、㈱ワイドレジャー

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行
株式会社三井住友銀行 株式会社りそな銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社 三井住友信託銀行株式会社
株式会社十八銀行

役 員 代表取締役社長 久 保 敏 志
常務取締役 (グループ統括) 八 百 博 徳
取 締 役 中 村 英 記
(キャラクターエンタテインメント事業担当)
取 締 役 (管理部門担当) 川 上 優
上席執行役員 (グループ事業推進担当) 野 崎 伸 一
執行役員 (グループ事業開発担当) 吉 田 稔
常勤監査役 西 野 純 明
監 査 役 (社外) 菅 生 新
監 査 役 (社外) 出 原 敏

○子会社の概要

商 号 株式会社サンエス
英 文 社 名 SAN-S CO.,LTD.
設 立 1993年9月9日
代 表 者 代表取締役社長 久保 敏志
事 業 内 容 キーホルダー、携帯電話関連グッズ等の
キャラクターグッズの物販業界向け卸販売

資 本 金 10,000,000円
主要取引先

アマゾンジャパン㈱、イオンリテール㈱、
㈱イズミ、㈱ITS'DEMO、㈱イトーヨー
カ堂、㈱ヴィレッジヴァンガードコーポ
レーション、㈱オリンピア、㈱キディラン
ド、㈱キャンパス、㈱ゲオ、㈱雑貨屋ブル
ドッグ、㈱しまむら、上新電機㈱、㈱ダイ
エー、田中商事㈱、㈱鶴和、㈱東急ハンズ、
ときめきドットコム㈱、㈱ドン・キホーテ、
日本トイザらス㈱、㈱博品館、㈱パスポ
ート、㈱パレモ、㈱ビックカメラ、㈱フジ
、㈱フジテレビジョン、㈱平和堂、㈱ホビー
ベース・イエローサブマリン、㈱マルシェ、
ユニー㈱、㈱ヨドバシカメラ、㈱ロフト、
㈱ワールド、㈱ワンダーコーポレーション
株式会社ケー・ディー・システム

商 号 株式会社ケー・ディー・システム
英 文 社 名 KD.SYSTEM CO.,LTD.
設 立 2002年11月25日
代 表 者 代表取締役社長 久保 敏志
事 業 内 容 電子玩具・電子機器の企画開発・販売
資 本 金 40,000,000円
主要取引先

アカツキ商事㈱、㈱あすなろ舎、㈱エトワ
ール海渡、㈱カワダ、川本産業㈱、SHO-BI㈱、
㈱セルフ大西、中越自動車用品㈱、㈱ツジセ
ル、寺内㈱、㈱ドウシシャ、ナツアキ㈱、㈱根
来、㈱ハピネット、ピップ㈱、㈱ヒラ商、プ
ラザスタイルカンパニー、㈱プロルート丸光、
ベネリック㈱、㈱マリモクラフト、マルカ
㈱、㈱萬栄、㈱森本店、八木兵㈱、㈱ラナ
SKJ USA, INC.
設 立 2009年9月18日
代 表 者 八百 博徳
事 業 内 容 北米におけるプライズ商品等の企画、製造、
販売

○会計監査人

有限責任監査法人トーマツ (業務執行社員が執務する事務所)
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋三井ビルディング

Stock Information 株式情報 (2013年2月28日現在)

○発行株式数および株主数

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株 主 数
12,381,000株	8,359,103株	3,959名

※ 発行済株式の総数には、自己株式133,860株が含まれています。

○株式の所有者別状況

	2011年2月期 (2011年2月28日現在)		2012年2月期 (2012年2月29日現在)		2013年2月期 (2013年2月28日現在)	
	株	名	株	名	株	名
個人	7,550,962	3,644	7,448,057	3,740	7,564,783	3,857
外国法人等	127,154	18	104,507	20	112,645	20
証券会社	52,695	22	37,547	23	63,628	21
金融機関	369,095	25	377,295	24	382,395	24
その他の法人	259,197	39	391,697	38	235,652	37

○大株主

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
久 保 敏 志	3,723,636	44.54
鈴 木 康 友	231,800	2.77
エスケイジャパン従業員持株会	181,054	2.16
八 百 博 徳	142,743	1.70
株式会社エスケイジャパン(自己株式)	133,860	1.60
株 式 会 社 異 商 店	122,400	1.46
中 村 英 記	82,221	0.98
ピーエスピーパセコティーズサービス/スジャステックノードティ	81,607	0.97
久 保 三 則	76,340	0.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	74,600	0.89

株式会社エスケイジャパン ホームページ「株主・投資家のみなさまへ」

エスケイジャパンホームページ「株主・投資家のみなさまへ」では、決算情報や、事業報告書、財務データなどの各種IR情報をご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

<http://www.sk-japan.co.jp/ir/index.html>

財務関連の数字が知りたい！

➡ 財務データ

売上高、営業利益などを掲載しています。

IR情報の資料が見たい！

➡ IRライブラリー

決算情報や有価証券報告書などを公開しています。

✉ IRメール配信中

ご登録をいただいた方々に、最新のIRニュースを始めとして、さまざまな情報をタイムリーにお知らせしています。この機会にぜひご登録ください。

▶▶▶ <https://www.dirnet.jp/7608>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年 5月
(定時) 株主 総会の基準日	毎年 2月末日 その他必要があるときは予め公告をして定めます。

剰余金の配当の 基準日	期末 毎年 2月 末日 中間 毎年 8月31日
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 0120 (094) 777 (通話料無料)

株主のみなさまの住所変更、単元未満株式買取請求、配当金受領方法のご指定等各種お手続きに関してはお取引の証券会社等へお申し出ください。

なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きに関しては三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。

公告方法	電子公告 (アドレス http://www.sk-japan.co.jp)
証券コード	7608
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所市場第一部 株式会社大阪証券取引所市場第一部

配当金はお早めにお受け取りください。

今回お届けした期末配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2013年6月19日(水)までとなっております。期末配当金領収証をお持ちになって、お近くのゆうちょ銀行ならびに郵便局(銀行代理業者)でお早めにお受け取りください。

もしお受け取り期間を過ぎたら…

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行ならびに郵便局(銀行代理業者)でのお受け取りができなくなります。期末配当金領収証の裏面に、お受け取り方法をご指定のうえ、三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までご郵送ください。

期末配当金領収証を紛失された場合は…

三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までご連絡ください。なお、支払の確認と再発行の手続きのため、お支払まで多少日数を必要としますので、予めご了承ください。



SK JAPAN

株式会社 エスケイジャパン

LOS ANGELES. TOKYO. NAGOYA. OSAKA. FUKUOKA

(証券コード：7608)



お問い合わせ先

〒540-0005 大阪市中央区上町一丁目4番8号 エスケイビル (株)エスケイジャパン

管理部 経営企画課：安久 伸治 (アンキュウ シンジ)

TEL：06 (6765) 0670 (直通) FAX：06 (6765) 7650 E-MAIL：ir@sk-japan.co.jp (IR専用)



ISO認証取得 2742122 大阪 東京

